

人類がいまだかつて経験したことが無い高齢化が進む我が国。その2030年の姿をイメージし、今から地域で何をしなければならぬかを参加者と一緒に考える「高齢社会2030を考える会」第2回を、自治体、大学・研究機関、社会福祉法人、NPO、企業・一般市民など多様な方々の参加のもと、5月28日梅田グランフロントC棟7F都市魅力研究室セミナールームにて開催した。

今回は、認知症をテーマに設定し、「認知症 それがどうした！と笑い飛ばせる地域社会の未来」と題して、大学で教鞭をとりながら、NPOの理事長として認知症共生社会づくりの実践活動に取り組まれている京都橘大学健康科学部小川敬之教授に登壇していただいた。

冒頭、田中所長が開会の挨拶を行い、実践を重視するエネルギー・文化研究所の特徴などを紹介した後、認知症の社会的位置づけの変遷と現在その捉え方が大きく変わりつつあるとの小川教授の解説から講演は始まった。

認知症は、「環境・物との関わり」「人との関わり」という“関係性の障害である”と認識することで、その障害への対応の仕方を工夫し、障害を改善することが可能である。

例えば、服を着る動作が混乱してうまく行えない人へのアプローチの場合、認知症の方が今何をやっていたのかを忘れ混乱が始まったら「仕切りなおし」を行い、その人が長年やってきた着方のパターンに誘導し再スタートすることをサポートすれば、“出来るはずのことは出来る”など認知症の方をサポートする際の具体的な対応の仕方について解説いただいた。

つづいて認知症の方も有償ボランティアとして役割を担い働く宮崎と京都での事例が紹介された。

宮崎のケースは、公民館に集まった様々な認知症の高齢者がふるさと納税の返礼品のオマケにするシャモジを磨いたり包装することで手間賃をもらう。そのお金を稼ぐ行為の過程で、認知症の方々が自己有用感を実感し、自分の

第2回
人とまちのウェルビーイング
高齢社会
2030を考える会
認知症 それがどうした！と笑い飛ばせる地域社会の未来

参加費 無料 事前登録 必要

日時
2019年5月28日(火)
17:30-19:30

定員 先着50名様

会場 梅田グランフロントC棟713
大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所
都市魅力研究室

お申し込み・問い合わせは
大阪ガス㈱エネルギー・文化研究所
担当:遠座(おんざ)

第1部 17:30-18:40
『経世済民の新しいカタチ
…作業療法の枠を超えて見えてきたこと』
講師:小川敬之さま
(京都橘大学健康科学部教授、NPO地域支援センターつづきNPO理事長)

第2部 18:40-19:30
対談～会場とのディスカッション
対談者:小川敬之さま、エネルギー文化研究所池水顧問

参加お申し込みの際は、以下のメールアドレスにお名前とご所属、参加人数をご記載ください。
MAIL: onza@osakagas.co.jp
URL: <http://www.os-csl.jp/>
TEL: 06-6206-2728



存在を認識することで症状が落ち着き、介護状況が改善していった事例である。

京都のケースは、認知症対応型デイサービスで利用者達が中京区のセレクトショップで販売するまな板の制作にかかわっている事例である。利用者達は自分の作ったまな板の販売状況が気になりショップに見に行っているという。

いずれも、認知症を“特別な病気”と捉えるのではなく、人として（その存在を）みんなが認め合うことで、関係性が向上し、生きる力も高まり、障害・症状を改善するというモデルである。

認知症の方々が介護サービス事業所にて有償で活動することを認めた平成 30 年の厚生労働省の自治体向け通達も紹介され、国の認知症に対する認識も変わりつつあることが示された。

また、この認識が普及し、認知症介護にかかる社会的負担・コストが減らせることで、子育て等次世代支援に社会の資源をより多く回し、継続可能な共生社会を実現する未来ビジョンも示された。

小川教授の講演を受けて、エネルギー・文化研究所池永顧問が「場<戦略<文化」をテーマに、家族・地域における関係性と対話の現状と課題、LOVOT（愛するチカラをひきだすロボット）を通じたこれからの高齢社会での AI、ロボットなどの技術の導入の可能性などの問題提起を行った。

小川教授と池永顧問との対談では、会場から寄せられた小川教授への 13 に及ぶ“認知症とは何か”“これからどうしたらいいのか”などの質問や感想が紹介され、「関係性の再構築」「コミュニケーションのあり方」の議論がおこなわれた。

会の終了後アンケートでは、参加者全員が会について“満足”“大変満足”と答え、「これまで読んできた教科書のような本は参考にならなかったが、現場体験からくる先生のお話は説得力があった」「認知症者やこれからの社会に対するイメージががらりと変わった」「できることはたくさんあることがわかり、ポジティブになれた」などの声が寄せられた。





次回（第3回）は、8月20日「人生100年時代のつながり方」をテーマに開催を予定。